



伊那ロータリークラブ



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 藤澤洋二 幹事 小松献臣 会報委員長 城取健太 第2915回例会 2020.10.22 No.1575



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21 年度 RI テーマ

Rotary Opens Opportunities

ソング 我等の生業

ビジター・ゲスト紹介

伊那弥生ヶ丘高等学校 進路指導 久保田剛史先生

会長談話 藤澤洋二会長



ロータリーの新年度が7月に始まり、4ヵ月近くがたちました。

今年度は、新型コロナウイルスのため、ロータリークラブの活動も制約を受けており、毎年当たり前におこなってきた納涼会などいろいろな行事を行うことができないです。その中で、通常の例会は、会場の伊那食品工業さんのおかげで、安心して行うことができ、毎週会員がお互いに顔を合わすことができ、ロータリー活動を続けてきています。塚越会員、ありがとうございます。

今日は、ロータリー年度はなぜ7月からはじまるのか?についてお話しします。

普通、年度といえば、1月から12月までとか、4月から翌年3月までということが多いようです。会社の事業年度は、そのほかにも8月から翌年7月までであるとか、会社により様々に決められています。

ロータリーの年度が7月から始まるのは、ロータリークラブが創られたアメリカの年度が7月からであったとか、アメリカの独立記念日の7月4日にちなんで決められたとか言われることがありますが、それは間違いであります。

1905年にシカゴ・ロータリークラブが誕生し、その後アメリカ各地でロータリークラブが設立されました。1910年8月にはアメリカ中のクラブ皆が顔を合わせる最初の大会 (convention) が開かれ、ポール・ハリスがロータリークラブ全米連合会の会長に選ばれました。まだ参加者は60人だけでした。

1910年11月にカナダのマニトバ・ロータリークラブが誕生し、ロータリーが国際的なものになりました。

マニトバ・クラブは、誇りをもって、The Club made Rotary International on November 3, 1910 (1910年11月3日にロータリーを国際的にしたクラブ) と称しています。

カナダのマニトバ・ロータリークラブの加入のおかげで、ロータリー全米連合会はロータリー国際連合会になり、1911年8月21日に International Convention(国際大会、世界大会)が開かれ、再度ポール・ハリスが会長に選ばれました。

そのとき、監査を行った会計士から、8月に大会を開催し、会計報告をするなら、会計年度を6月末に終了してほしいと提案がなされました。1913年4月の理事会で会計年度を6月末に終了することが決定されました。以後ロータリーの年度は、7月から翌年6月までとなったということでもあります。

今日はロータリーの年度がなぜ7月から始まるかについてお話ししました。

幹事報告

1. 地区事務所より、第2600地区青少年育成基金プロジェクト助成金の申請についての案内が参りました。申請の手続きに関しては、「青少年育成基金規約」を参照してください。11月末日までに、ガバナー補佐を経由し、地区事務所宛て提出してください。
2. 桑澤ガバナーエレクトより、2021-22年度地区委員会委員の継続および推薦のお願いが参りました。各クラブ10名につき1名の割合で選出をお願いします。推薦書の提出期限は11月20日(金)です。
3. 一般社団法人井上井月顕彰会様より、「第2回伊那Valley映画祭」のチラシが参りました。

【11月のプログラム】 (ロータリー財団月間)

5日(木) 通常例会 会員卓話 (堀内厚志会員)

12日(木) クラブフォーラム (担当: 国際奉仕・財団)

19日(木)卓話(伊那ロータリー杯 宮下成彰
事務局長と担当教諭) ※13:35 理事会
26日(木) IGM(会場・時間変更)

委員会報告 第1回会長エレクト、次期幹事研修セミナー報告 平澤泰斗会長エレクト

10月18日(日)に会長エレクト・次期幹事研修セミナーが、成田ガバナー、桑澤ガバナーエレクト、上沢ガバナーノミニ、関地区研修リーダー、古川直前ガバナー、次期ガバナー補佐、各クラブ会長エレクト・次期幹事が参加して、Zoomを使いオンラインで行われました。



最初に関地区研修リーダーが「クラブ運営のポイント」について話され、クラブの運営を「幹事任せあるいは事務局任せにしない事」「前年度踏襲はやらないようにしよう(去年と同じクラブ計画書?委員会事業計画?)」また、「活力のある元気な行動するクラブ、5年後のクラブについて考え成長するクラブになりましょう」「結果をコミットするために、会員増強・My Rotary登録等の数値目標を設定し、成長したところ、未達成の原因を探そう」と話された。

古川直前ガバナーは「新年度を迎えるまでの準備と心得」について話され、これとは別に、コロナで行事が中止になっていて予算が余っていると思われるので、予算書の見直しを要望されましたが、具体的な事については何もありませんでした。

また、新クラブ「信州友愛RC」について説明されました。これは、全県一つのクラブでZoomを使い例会を行うそうです。若い会員、女性会員に入会してもらい会員の多様性をもたせ、Net上でロータリアンとの交流もするそうです。現在20名程の会員がいるそうです。

My Rotaryの登録に関して登録数は、10月現在50%弱ですので、是非多くの方に登録して欲しいとのお願いがありました。

桑澤GEからはロータリーのデジタル化について、各クラブで「デジタル化推進委員会」を設置するよう要望がありました。これは誰一人として置いていかないデジタル化を目指している。SNS(face book, Line等)を活用して、若い人たちの共感と協力を得る。より開かれた奉仕活動のためのツールとしたいとの事でした。

また、My Rotaryに登録して、My Rotaryを活用して欲しいとの要望がありました。最後に上沢ガバナーノミニが紹介されました。Zoomを使いオンラインでのセミナーでしたが、不慣れのためスムーズに進行できない場面もありましたが、質疑応答も出来、慣れれば有用なツールと思います。

出席報告 会員数54名 内出席免除15名
長欠0名 出席者34名 事前メークアップ1名
出席率68.62%

ニコニコボックス

藤澤洋二・小松献臣 伊那弥生ヶ丘高校久保田剛史先生
本日卓話を宜しくお願い致します。
鈴木正比古 伊那弥生ヶ丘高等学校久保田先生
本日は講演宜しくお願い致します。
塚越 寛 中央病院にて血管のトレーニングキットを販売する記者会見を行いました。
ラッキー賞 小坂樫男・唐澤幸利・小林旬子・鈴木正比古・中川博司・藤澤秀敬・増田 清



卓話

伊那弥生ヶ丘高等学校進路指導久保田剛史先生
演題「普通科高校生における進路観や職業観」
(紹介者 鈴木正比古職業・社会奉仕委員長)

伊那弥生ヶ丘高校にて進路指導をご担当されており、また本年の伊那弥生ヶ丘高校キャリア教育におかれまして担当をされています。



- ・伊那弥生ヶ丘高等学校で進路指導を担当しております。
- ・伊那弥生ヶ丘高等学校は普通科の高校になります。生徒たちはすぐに就職ということではありませんが、そういった環境にいる高校生が考えていること、本校が取り組んでいることについてお話します。
- ・本校は昨年度では大学、短大、専門学校への80%~90%の生徒が進学します。



- ・今回の談話にあたり、現3年生にアンケートを取りましたので、結果を踏まえてお話しします。
- ・進路希望状況ですが、県外の大学進学が約60%、県内の大学進学が約26%、そしてその他となります。
- ・近年、県内の短大が4年生化したり、私立から公立に変わったことから、県内の大学進学希望者が多くなってきています。
- ・進学しない就職希望者のほとんどが県内の企業を志望しています。
- ・コロナ禍の影響も大きく、20%の生徒が影響があったと回答しています。特に今年に県内進学志望者が増えた原因と考えています。
- ・大学等の卒業後では、県外就職希望が17%、県内就職希望が30%、約半数は未定でした。進学後卒業後の進路が未定なのが普通科高校の特徴と考えています。
- ・県外進学希望者のうち、30%は県内就職を希望しています。
- ・県内進学希望者のうち、約半数は就職希望に関しては未定です。
- ・長野県に戻ってきたいと思っている理由は、過ごしやすい、地元が好きだから、地元で貢献したいという理由が多いです。
- ・長野県に戻らずに県外で働きたいと思っている生徒は少なく、長野県に愛着がある、過ごしやすいと感じている生徒が多いことがわかりました。
- ・他方、長野県に戻ることに不安については、不安はないという回答が一番多かったですが、その次は就職したい企業がない、地元で元気がない、都会に住みたい、一人で生活してみたい、というように県外で元気にやってみたいという生徒もいました。
- ・就職において重視することについては、会社、職場の雰囲気、給料というのがありました。意外だったのは、自分の夢、やりがいが多く驚きました。
- ・アンケート結果を踏まえて、普通科の高校生は将来について漠然としているが、だからこそ学校の外に出て、違った環境の中で、別の視点で学び、自分の追い求める物が何か考えることが必要だと感じています。
- ・そんな生徒に対して、将来に繋がるような具体的なことを見せてあげることや夢を持たせるような働きかけができればいいと考えています。
- ・本校の取り組みとしては、探究的な学習の時間を設けており、授業ではない取り組みを行ってきました。
- ・今年から方針を転換して、普通科の生徒達が苦手な、答えがない問題に答える、調べてきた物から行動に移すということをメインに据えています。
- ・現在、地域の方々の協力を得ながら、地域の課題に、複数のグループに分かれて取り組むということをしています。
- ・このような取り組みをする中で、学校の中だけで完結するのではなく、学校の外で学び・経験することが重要であり、それには地域の方々の協力が不可欠であると思っています。
- ・生徒が体験したことが故郷のイメージになり、長野県で何かしたいと思ってもらえるようにしたいと考えています。
- ・夢ややりがいを求めている生徒は多くいて、そのような生徒が長野県に戻ってきて活躍してくれば、長野県ももっと発展していけると思っています。そのためには、地元企業の方々にもご協力いただければと思います。